

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標

- ◎子ども一人ひとりを大切に、学びを通して自立をめざします。
- ◎子どもが「わかる、できる」を実感し、「考える」授業を通して、思考力、判断力、表現力等の「学ぶ力」を育成します。
- ◎人も自分も大切にできる人権尊重教育を推進し、相手の立場に立って考えられる「思いやり」の気持ちと共生、協働の態度を育成します。
- ◎自治意識、自治能力を育てる主体的な生徒会活動を推進し、課題解決を図ろうとする力を育成します。
- ◎多様な人と関わり、充実した体験活動や実践の中で、自己肯定感や自己有用感を醸成します。
- ◎地域の教育力を生かして、地域からの学びと交流を図る中で、地域の中で成長し、社会に貢献できる子どもを育成します。

(2) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野		具体的取組
生きてはたらく知		①生徒が自ら問いを見いだし解決していく授業を通し、日常や社会の中で生きて働く力を育てる。 ②放課後学習会や夏季学習会などを活用し、基礎・基本の定着を図る。 ③校内や小中合同での授業研究会を通し、全ての教員が授業改善に取り組み、生徒の資質・能力の育成を目指す。
担当	学習指導部	

2 教科学習の状況

- 国語科：話す聞く力や知識・理解・技能は身につけている。読む力・文章を書く力・活用する力に課題ある。
- 社会科：知識の定着は見られるが、記述や資料の読み取りに課題がある。
- 数学科：基礎的な知識や技能についてはある程度定着が見られるが、数学的な考え方に課題がある。
- 理科：自然事象についての知識・理解はあるものの、科学的な思考力が不足している。
- 外国語科：易しい英語を聞き取る力はある程度身につけている。言語に関する知識の定着、家庭学習に課題がある。

3 令和3年度 学年・教科等としての具体的取組

国語

- 漢字・文法の力を身に付けるために小テストを繰り返し実施し、知識を確実なものにする。
- 文章を正確に読む力をつけたいので文章構成に着目させて考えさせる教材に取り組みさせる。
- 学んだ単元を社会生活に生かすことができるように活用の学習に取り組みさせる。

社会

- 視覚教材などを使用し、社会的事象や学習内容の興味関心を高める。
- ワークの反復練習やテストの実施などを行い、知識を定着させる。
- 記述問題やグループワークを通し、資料を根拠に自分の考えを伝える力を養う。

数学

- 基礎問題の反復練習や単元テストなどで知識・技能の定着を図る。
- 教材・教具を工夫し、数学に対して興味をもって取り組むことができるようにする。
- 会話文など文章問題に対して繰り返し取り組み、数学的な考え方を養う。

理科

- 教材・教具を工夫し、理科に対する興味関心を高める。
- 実験を通して、自分の考えを表現したり発表したりする力を養う。
- 練習や小テストなどで知識・技能の定着を図る。

音楽

- 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- 教材を工夫し、音楽に対する興味関心を高める。

美術

- 横浜版学習指導要領ベースカリキュラムに基づいた小中9年間を見通した題材配列を考える。
- 生徒一人ひとりが意欲的に表現主題を迫及できる魅力的な題材の提供を図る。
- 幅広い鑑賞活動を通して、造形的な視点を豊かにもち、美術や美術文化などと豊かに関わる資質、能力を育てる授業を考える。

技術・家庭

- 家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立と、生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- 持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

外国語

- リスニングや話す練習の繰り返しにより、言語に関する知識の定着と表現力の向上を図り、重要語彙や基本文等を書く練習をさせる
- AET と会話する活動や生徒相互のペア活動など、コミュニケーション力を高める場面を計画的に設定する。

特別活動

- コミュニケーション能力を育みよりよい人間関係を築かせるために、行事活動の充実を図る。
- 話し合い活動では、相手の考えや思いを尊重し、協力して問題解決する態度を育てる。

総合的な学習の時間

- 職場を選択する活動を通して自分への気づきを深め具体的な行動につなげて考えるようにする。
- 体験・講話で学んだことを整理分析することで、自己の将来について考えを深められるようにする。

個別支援学級

- 個別の指導計画に基づき、授業形態や学習集団の構成を工夫し、指導の充実を図る。